

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	阪田三吉名人杯将棋大会開催事業				シート番号	008-037
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化	課 評価責任者(課長名)
						辻尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	文化芸術活動の振興	無
	2	事業開始年度	昭和 63 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	自由都市堺文化芸術まちづくり条例			
	4	関連計画	自由都市堺文化芸術推進計画			
5	事業実施の経緯	本市出身の阪田三吉名人を顕彰するとともに、地域文化の活性化、さらには堺の都市イメージの向上を図るため、市制100周年記念事業の一環として開始した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input checked="" type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	全国の将棋愛好家				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	全国のアマチュア棋士を対象にした将棋大会を通じ、本市出身の阪田三吉名人を顕彰するとともに、地域文化の活性化、さらには堺の都市イメージの向上を図る。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	全国のアマチュア棋士を対象にレベルごとにA～Fの6クラスを募集し、将棋大会を開催している。参加希望者(定員あり)にプロ棋士等による指導対局の場もある。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 公益財団法人堺市文化振興財団					

Ⅲ. 投入量

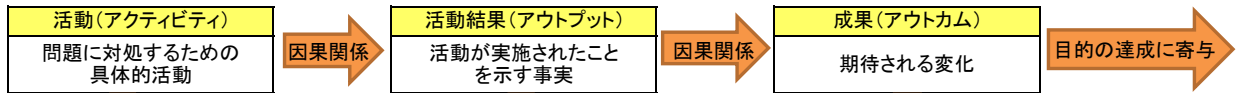
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費(a)	千円	5,417	5,299	5,367	5,245	5,299	5,218	5,109
	負担金	千円	5,417	5,299	5,367	5,245	5,299	5,218	5,109
	主な事業費内訳	千円							
		千円							
		千円							
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円	5,417	5,299	5,367	5,245	5,299	5,218	5,109
12	人件費(b)	千円		2,630		2,630	2,600	2,600	2,710
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	5,417	7,929	5,367	7,875	7,899	7,818	7,819

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	阪田三吉名人杯将棋大会開催事業	シート番号	008-037
-------	-----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>堺市文化振興財団と連携し、円滑に運営を実施した。 参加者は定員を上回る募集がありなど、高い人気となっている。参加者全体からみると半数以上が市外からの参加者であるが、中学生以下の大半は市内参加者であり、市内若年層に対して、将棋文化に触れる機会を提供した。また、人権ふれあいセンター阪田三吉記念館と連携し、会場内に阪田三吉顕彰のブースを設置したり、阪田三吉記念館への誘導を図るなど、顕彰に努めるとともに、多くの市外からの参加者があり、将棋大会を通して堺市の都市イメージにもつなげることができた。</p>						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		申込用紙配架施設数	施設	目標値	628	628	628	628
				実績値	609	607	607	607
				達成率	97%	97%	97%	97%
	評価			普通	普通	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		配架数施設					
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		将棋大会応募者数	人	目標値	684	684	684	684
				実績値	745	727	725	725
達成率				109%	106%	106%	106%	
評価	良い			良い	良い	良い		
算出方法・設定根拠など		目標値＝募集定員						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	申込用紙配架施設数	施設	609	607	607
	②	上記①にかかる年間経費	千円	182	182	182
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	299	300	300
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	将棋大会応募者数	人	745	727	725
	②	上記①にかかる年間経費	千円	7,929	7,875	7,818
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	10,643	10,832	10,783
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		<p>応募者数は例年と同様の応募者を確保しており、目標を達成することができたと考えるが、阪田三吉を通してより、都市イメージの向上になるよう、PR先、配架先の拡充に努める。 令和2年度は、申込用紙の配架も行い、応募も受け付けたが、新型コロナウイルス対策症対策の観点から事業は中止とした。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	阪田三吉名人杯将棋大会開催事業	シート番号	008-037
-------	-----------------	-------	---------

≪ V. 点検 ≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 この将棋大会は、定員を上回る募集があるとともに、長年、開催場所である地域と協力し、地域文化の向上に資する大会であり、廃止した場合、阪田三吉の顕彰及び地域文化、都市イメージの向上を損なうこととなる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 廃止した場合、阪田三吉の顕彰及び地域文化、都市イメージの向上を損なうこととなるが、新型コロナウイルス感染症対策防止の観点から、当該年度は理解されたいと考える。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 将棋大会という接触を伴う競技の性質上、どうしても対策費を拡充しなければ実施できず、現行予算で、縮減できるところできる業務を取りやめたとしても、新型コロナウイルス感染症対策費が拡充となるため、大会を実施するために、現行予算の拡充もしくは、最低限現状維持が必須である。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 人数の制限、会場の変更等
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 実施を行う将棋連盟や人権ふれあいセンターとのさらなる連携。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 この大会は、将棋界の発展に貢献した堺出身の偉大な先人阪田三吉名人を顕彰するとともに、全国各地から700人も将棋ファンが訪れる、地域文化や都市魅力の向上につながる、堺市にとって重要な大会である。 将棋という性質上、対戦距離の近さや駒を通しての接触等、新型コロナウイルス感染のリスクがあるため、他事例も参考にし、十分に対策を行い実施していく。		